

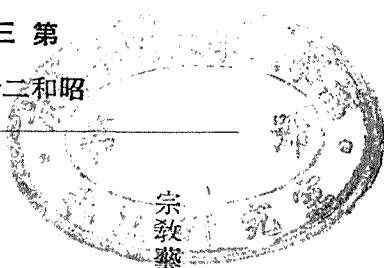
大正五年四月六日第三種郵便物認可
昭和二十三年二月十日印刷納本（毎月一回一日發行）

哲學研究

第三十一卷 第十冊

第三百六十七號

昭和二十三年二月二十日發行



宗教藝術の基本的契機……………文學士 河本敦夫

「大學の理念」の史的展開……………文學士 森 昭

シラアの美的立場……………文學士 吉田忠勝

京都大學文學部
京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年百八十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	關原太郎
文學士	高田三郎
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

教育研究會例會

十一月二十二日(土)午後二時心理學第一實驗室に於て開く。

三高教授佐藤幸治氏が『アメリカ心理學の側面觀』と題して研究發表をされ、先づ現代アメリカ心理學の重要な傾向である Psychology for science & Psychology for society とも云ふべき

二つの流れの系譜を Wundt 及び W. James より現代に到る迄の心理學の發展の中に解明せられた。次いでメンタルテストと前大戦との關係、今次大戦の戦前と戦後に於けるアメリカ心理學の動きを説明され、之を概觀するに現代アメリカ心理學に於てはその研究が非常に分化してゐる反面或る一つの研究對象に向つてあらゆる方面よりする綜合的な研究が重んじられてゐること、即ち分化に對する反省としての綜合がよく自覺されて居り全體としては順當なる發展に向つて確實な歩みを續けてゐると云ふことが出来る」と論ぜられた。そして更にアメリカの教育心理に於ける最近の傾向である Evaluation 運動に關し、この運動に於てはテスト或はメジャーメントに於ける最化に對する反省として Scale Analysis の考へ方の重視が見られ個々の生徒の具體的な把握の仕方に關する研究がなされて居り、その方法として (一) 生徒の life history (autobiography 等) を書かせると (二) 教育者が behaviour observation をなし anecdotal

records 或は behaviour description を書くこと (三) 個々の生徒に對して interviews 或は questionnaires を行ふこと (四) census graph の考へ方により生徒と環境との連關を具體的につかむこと (五) cumulative records をとること等がテストやメジャーメントと併せ用ひられて居ることを説き、現在我が國に於て行はれてゐるテストやメジャーメントの示す結果のもつ意味及びその教育的な用ひ方について論ぜられた。

發表後會員の質問があり活潑な討論を行ひ午後五時散會す。

(蜂屋 慶)

前 號 目 次

中觀哲學の根本的立場：文學士 長 尾 雅 人

社會法の性格(完)……法學士 磯 村 哲

—近代民法と社會法—

「學問」の語義について：文學士 木 村 俊 次

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房
内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學 京都哲學會
文學部内

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券五十
錢御送付下され度候

昭和二十三年二月十日印刷納本
昭和二十三年二月二十日發行

編輯人 京都哲學會

京都大學文學部内

右代表者

小田 田 武

發行兼印刷人 八坂 淺太郎

印刷所(京都志)弘文堂印刷部

配給元 日本出版配給株式會社

發行所 弘文堂書房

東京都千代田神田駿河臺四ノ九

定 價		冊 數		定 價 (俵)		郵 税	
一冊	十五圓	一冊	十五圓	金五十錢			
六冊(前金)	九十圓	六冊(前金)	九十圓	金三圓			
十二冊(前金)	百八十圓	十二冊(前金)	百八十圓	金六圓			

(誌代の變更による會費の過不足は
半年又は一年毎に精算いたします)